

★県内NPOのみなさんへのお願い★

県内NPOのみなさんとのネットワークを生かしながら、今後とも被災者を支える活動を展開していきたいと思っています。茨城NPOセンター・コモンズは、ニーズを先取りして支援を行うNPOの活動を応援する団体です。みなさんの活動を後方支援させていただきたいので、ぜひコモンズにご相談、情報提供してください。被災者のために、茨城で新たな支援事業を、一緒に生み出していきたいと思います。そのためにホープ茨城募金や市民ファンド構想を活用したいと考えています。

いまこそ茨城のNPOの存在価値を示す時です。みんなで取り組めば、きっと小さな希望が本物の可能性に変わります。ぜひコモンズにご相談、情報提供してください。

ご参加ください！

『今後の震災復興を考える市民集会』

～被災地（茨城+福島）の市民が今後できることを考えよう～

日時：2011年5月28日（土）午後2時50分～5時

場所：茨城県労働福祉会館5階（茨城県水戸市梅香2-1-39）

申込み：茨城NPOセンター・コモンズ

電話：029-300-4321 eメール：info@npocommons.org

★被災したNPOへの支援制度・助成金★

<NPO法人の提出書類に関する震災特例>

事業報告書の提出期限は、平成23年6月末まで延長されました。つまり12月決算の団体は、6月末まで3ヶ月報告書提出期限が延びました。これにより、事業報告書や収支計算書を元来の期限までに茨城県に提出できなくても、罰則（過料20万円以下）の適用が免除されます。同様に、法人設立登記、役員変更届、定款変更届の提出なども6月末まで延長されています。



*詳しくは内閣府のウェブサイトをご覧ください。

< https://www.npo-homepage.go.jp/pdf/20110418_shinsai.pdf >

もしくは < <http://bit.ly/f8oGJd> >

<NPO法人への納税に関する震災特例>

被災地である茨城県にも法人税・消費税・源泉所得税などの申告時期延長の震災特例が発令されています。全ての国税・県民税、それにほとんどの県内市町村で市町村住民税の申告時期が延長となっております。法人税の減免申請についても同様です。延長期限に関しては、震災が現在進行形という状況なので、未定となっております。つまり、3月決算のNPOは6月に総会を開催することも可能となります。詳しくは最寄りの税務署や市町村の税務課、また以下の国税庁のウェブサイトをご確認ください。

< <http://www.nta.go.jp/sonota/sonota/osirase/data/h23/jishin/hisai/index.htm> >

もしくは < <http://bit.ly/dRampv> >

<損壊した福祉施設復旧のための助成>

茨城県共同募金会では災害支援制度を設けており、災害ボランティア活動支援のほか、公費補助の対象とならない福祉施設における一時的受け入れ支援活動や、被災して破壊・破損した施設の建て替え・応急修理・買い替えなどにかかる経費を補助しています。また、利用者の一時避難のための経費なども対象となります。詳しくは以下のウェブサイトをご確認ください。

茨城県共同募金会：< www.akaihane-ibaraki.jp >



「コモンズ」とは市民・企業・行政・市民団体などが自由に参加して情報を交換し新しい価値観を共有する場を意味しています。

東日本大震災特別号

東日本大震災の爪あとは、茨城にも確実に残っています。状況は改善してきているものの、4月中旬現在、死者23名、住宅被害約96,600件、また614名が避難所生活を余儀なくされています。神栖や潮来など、いまだに一部断水が続いている地域もあります。また、原発事故による農作物・水産物などの風評被害や、水道水の放射能汚染も心配されています。ところが、茨城のこういった状況がマスメディアであまり取り上げられていないためか、同じ被災地の宮城や岩手などと比べ、支援が手薄となっております。



津波被害を受けた北茨城の家屋

そこで、私たち茨城NPOセンター・コモンズは、茨城県域で活動するNPOセンターとして、県内NPO、行政、企業、生協、メディア、および全国で活躍している災害救援組織との連携により、東日本大震災の被災者を支援しています。特に、支援が手薄となっていた北茨城市などの茨城北部、また原発事故の影響下にある福島県いわき市などに集中して、救援物資の提供、現地との連絡調整・情報発信、バスでのボランティア派遣、被災地支援活動を応援する『ホープ茨城募金』など、重層的に被災者支援を重ねてきました。

★情報の支援★

震災直後にまず取り組んだのが、被災地や避難所状況などの情報の整理・発信です。道路状況やガソリン枯渇でスタッフの移動がままならない中、ラジオやネットで入手した生活情報・ライフライン復旧情報などをメールやブログ、ツイッター、震災特設サイトなどを駆使して、自宅から発信しました。また、常総市の外国人就労・就学サポートセンターでは災害情報をポルトガル語で発信しました。さらに、うつくしまNPOネットワークや茨城県社会福祉協議会、SRネット茨城のメンバーなどと連絡調整を行いました。

ブログ：< <http://blog.canpan.info/npocommons/> >

ツイッター：NPO_Commons

震災特設サイト：

< www.npocommons.org/jishin.html >

特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ ブログ

コモンズに寄せられた各団体のイベント情報、助成金情報、コモンズの活動状況、NPO関連のニュースを配信するブログです。

2011年04月	今週末いわき市での空屋かたづけボランティアを募集します！	リンク集
1 日	【2011年04月04日(水)】	茨城NPOセンター・コモンズ
2 日	福島県いわき市では、地震で倒壊したり、津波で浸水した家屋が多くあります。しかし、泥水に浸った家財の運び出しや清掃になかなか手が回らず、ボランティアが不足しています...	大好き いばらき 県民会議
3 日		茨城県生活文化課 NPOのページ
4 日		会議室 Netcommons
5 日		月別アーカイブ一覧
6 日		2011年04月(0/3)
7 日		2011年03月(0/2)
8 日		2011年02月(0/1)
9 日		2011年01月(0/0)
10 日		2010年12月(0/0)
11 日		2010年11月(0/0)
12 日		2010年10月(0/1)
13 日		2010年09月(0/1)
14 日		2010年08月(0/1)
15 日		2010年07月(0/0)
16 日		2010年06月(0/0)
17 日		2010年05月(0/0)
18 日		2010年04月(0/0)
19 日		2010年03月(0/0)
20 日		2010年02月(0/0)
21 日		2010年01月(0/0)
22 日		2009年12月(0/0)
23 日		2009年11月(0/0)
24 日		2009年10月(0/0)
25 日		2009年09月(0/0)
26 日		2009年08月(0/0)
27 日		2009年07月(0/0)
28 日		2009年06月(0/0)
29 日		2009年05月(0/0)
30 日		2009年04月(0/0)

東北地方太平洋沖地震 応援基金

カネコリアン・カネコリアン イベント(0/2) コモンズ活動状況(0/5) 助成金情報(0/6) ニュース(0/2) 地震(4/3)

最新記事一覧

- 今週末いわき市での空屋かたづけボランティアを募集します！
- 北茨城から届いた手紙
- 先週末(4月16日、17日)もいわき市へボランティアに！
- 空屋かたづけボランティア 緊急大募集！

集合場所

水戸・茨城県三の丸庁舎前駐輪場
つくば・チキスタウン4階駐輪場
*地図はページ下の添付ファイル参照

日時：平成23年4月24日(日)13日

いわき市にHOPE(希望)を届けるために

被災者支援情報をまとめたコモンズのブログ

発行：認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

〒310-0022 茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階

電話：029-300-4321 FAX：029-300-4320 eメール：info@npocommons.org

ウェブサイト：< www.npocommons.org > ブログ：< <http://blog.canpan.info/npocommons> >

ツイッター：NPO_Commons ご入会はこちらから！ < www.npocommons.org/join >

★救援物資の支援★

また、震災直後から取り組んだことが救援物資の提供です。道路状況の回復が進まず、原発事故の影響もあり、北茨城市と福島県いわき市への支援は茨城から取り組まなければ孤立してしまうと考え、集中的に物資提供を行いました。 commons水戸事務所やつくば市民大学などを中心に、多くの市民（水戸：約200人、つくば市：約1,000人）から救援物資を集めました。また、つくばにある生協の倉庫や東海村の関係団体の倉庫に物資を一時保管しました。北茨城では高齢者支援のNPO法人 ウィラブ北茨城が、いわきではNPO法人 うつくしまNPOネットワークがそれぞれ調整役となり、救援物資の受け入れを行いました。物資の搬入・搬出、梱包作業などには近隣の大学生や市民、またフードバンク茨城に多くのお力をいただきました。配送には、茨城乳配(株)やパルシステム茨城などにご支援いただきました。



つくばの倉庫での搬入作業



commons事務所前に集められた物資

おかげさまで、これまでつくばからはミカン箱約2,500箱分、水戸からは約8.5トン分の物資を送りました。震災当初は毛布や衣類などを送っていましたが、次第に紙オムツや粉ミルク・調味料などの消耗品に切り替えたり、また避難された方が避難所から仮設・市営住宅に移るにあたり世帯向けの支援物資パックを用意するなど、被災者のニーズにあわせて支援物資の内容を常に変化させてきました。また、大きな余震により再び断水したいわき市に、鹿児島でカンパで購入されたお水を3トン届けました。

いわきや北茨城では物資ニーズが落ち着いてきたので、現在は救援物資の受け入れは一時休止しております。今後はニーズが顕在化した際に、種類を限って募集することになります。物資提供にご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました。

以下は北茨城から届いた、物資支援を受けた方々からのお手紙の抜粋です。

「ご支援いただいた方々の真心を感じ、本当にありがたく感謝致します。私たちも、一日も早く立ち直れるよう、がんばってまいります。」

「震災直後にいただいた救援物資とは内容が変化しており、細かい配慮に感激しました。ありがたくいただきました。」

「ボランティアからの支援を受けたのは、初めてでした。心にしみました・・・。」



被災者へのメッセージ

★ボランティアの支援★

震災当初はなかなかボランティアが被災地に入る状況ではなかったのですが、約1ヶ月が経った頃から次第に被災地でもボランティア受け入れの態勢が整備されてきました。いわきでも、地域のまちづくりNPOや国際協力NGOシャプラニールなどの支援を受けて『いわき市勿来地区災害ボランティアセンター』が設立され、茨城からも水戸・つくば発のボランティアが乗るバスを毎週末派遣しております。これまで3週間、のべ100名以上のボランティアをいわき市に派遣しました。茨城県社会福祉協議会と障がい者支援のNPO法人 エイエスピーにはバスのご協力を、大好き いばらき 県民会議にはボランティア活動備品と駐車場の手配を、つくばのデイズタウンにはボランティアの駐車場スペースのご協力をいただいております。また、いばらきコープや県内複数の社会福祉協議会からは、ボランティアを何度も派遣して下さっております。本当にありがとうございます。



いわきでのかたづけボランティア

★ご寄付の支援★

救援物資を届けたり、ボランティアを派遣したり、現地との連絡調整、情報整理・発信をするなどの私たちの活動だけではなく、被災者支援に取り組む茨城のNPOや市民による自発的な活動を広くご支援いただくべく、『ホープ茨城募金』を立ち上げました。4月20日現在、160の個人・団体から約500万円程のご寄付をいただきました。中央ろうきん、とんQ(株)、NPO法人 笠間学童保育の会、NPO法人 地域福祉サポートちた、韓国の忠北参与自治市民連帯などからもご支援いただきました。企業や協力団体からもご寄付いただきましたが、ほとんどが個人からのご寄付です。本当にありがとうございます。



つくばデイズタウンでの街頭募金

いただいたご寄付は、緊急性のある救援物資の購入や配送費、ボランティアを派遣するバスの経費、被災地でコーディネートにあたる団体に対する支援金などに活用させていただいております。また今後は、県内・福島県で情報の収集・発信するための経費や、上記事業を通じて仕事を失った方々のNPOでの雇用・起業にもつながるようにしていきたいと思っています。これらの活動にご協力いただけるNPOは、ぜひcommonsまでご連絡ください。被災者を支える事業を通じて、これまでcommonsが構想していた県民からの寄付によって地域のNPOが活動できるような寄付循環、市民ファンド事業も実行していきたいと考えています。

また、被災された人々の生活に必要なサービスを持続的に提供するためには、みなさんお一人お一人のご支援が必要です。ぜひ、ご寄付によって応援してください。

■郵便振替（できればこちらにお振込みください）

00160-7-46911 茨城NPOセンター・commons

*通信欄に、『ホープ茨城募金』とご記入ください。

■中央労働金庫

水戸支店 普通 6776371 茨城NPOセンター・commons 代表理事 斎藤 義則

*振込後、お名前・住所・電話番号をご一報ください。

■常陽銀行

本店 普通 1978796 特定非営利活動法人 茨城NPOセンターcommons 代表理事 斎藤 義則

*振込後、お名前・住所・電話番号をご一報ください。

*以下の寄付税制拡充の法案が、4月下旬現在検討されています。

- 所得税の震災関連寄附金に関する控除上限額を所得の80%へ倍増
- 認定NPO法人と中央共同募金会への活動支援金寄付について、税額控除方式（寄付金額の40%、所得税額の25%上限）を先行導入
- 被災者支援を行う認定NPO法人への寄付金を指定寄附金に指定
 ※この措置により、被災者支援を行う認定NPO法人は最大で、
 個人：税額控除/所得控除の選択制（最大80%まで控除可） 法人：全額損金算入可
 という、強力な税制上の支援を受けることが可能になります。

★今後の被災者を支える活動★

今後は、いわきへのボランティア派遣や、種類を限定した救援物資の支援を行うとともに、福島から茨城に避難した方々へのサポートを行っていきます。私たち茨城NPOセンター・commonsのみでできることは限られているので、これまで以上に様々な組織との連携の中で活動を展開していきます。茨城県経営者協会、茨城新聞、パルシステム茨城、連合茨城などのSRネット茨城メンバーとのつながりのほか、県内の社会福祉協議会、災害ボランティア・センターとの被災地支援活動状況やニーズなどの情報共有化を図っていこうと考えています。



パルシステム茨城との連携で北茨城へ救援物資を届ける